

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成25年9月25日

施設名	香北青少年の家	所管課室	生涯学習課
-----	---------	------	-------

## 1. 施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさと公社
指定期間	平成24年4月1日～27年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用の許可に関する事</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関する事</li> <li>・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事</li> <li>・主催事業を計画し、実施すること</li> </ul> <p>&lt;平成24年度主催事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集まれ!!未来の麺職人</li> <li>・子どもフェスティバル いきいき合衆国で遊ぼう!</li> <li>・日帰りだよ!親子忍者大会体験</li> <li>・子どもフェスティバル忍者大会</li> <li>・青年リーダー研修 など</li> </ul>
施設内容	<p>青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡          別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡          研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡</p> <p>施設概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修室 3室(定員20名,80名,120名)</li> <li>宿泊室 定員121名</li> <li>浴室3室</li> <li>野外炊飯場 3箇所 定員300名</li> <li>ランニングコース 1コース 1.7km</li> <li>オリエンテーリングコース 1コース 10km</li> <li>ウォークラリーコース 2コース 5km</li> </ul>
職員体制	職員:所長1名 所長代理1名 事務員1名 指導員4名 調理員4名 合計:11名

## 2. 収支の状況

		H23年度(決算)	H24年度(決算)	H25年度(予算)
収入	県支出金	35,437,000	35,922,000	35,923,000
	事業費収入	669,500	1,026,482	1,120,000
	収入計(a)	36,106,500	36,948,482	37,043,000
支出	事業費	1,180,887	1,447,931	1,516,000
	管理運営費	9,729,611	9,561,814	8,670,000
	人件費	23,476,653	24,179,307	25,093,000
	消費税	1,719,349	1,759,430	1,764,000
	支出計(b)	36,106,500	36,948,482	37,043,000
使用料収入		1,897,690	2,232,660	1,906,000

### 3. 利用実績

#### (1) 宿泊者数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均
宿泊者数	7,068	7,352	6,913	6,382	7,252	6,993

#### (2) 利用団体数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均
団体数	177	193	169	136	154	166

#### (3) 利用者数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均
人数	15,823	15,998	15,671	14,119	16,194	15,561

### 4. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。 ○児童・生徒数が減少したため、パンフレットやチラシの配布区域を拡大し、利用者拡大を図っている。 ○高知新聞伝言板や高知新聞発行のコミュニケーションペーパーに主催事業である「忍者大会」について掲載してもらうなど、積極的に施設のPRを行っている。
②利用者へのサービス向上のための改善策	利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。 ○「笑顔と感動」をより多くの利用者にとられるように、職員だけでなくボランティアである青年リーダー達が「笑顔と感動」に向けて活動できるように研修を行い意識づけをした。 ○宿泊学習の際に利用者が「何を目的とし」「何を求めているのか」を把握し、綿密な打ち合わせを行い、目標を達成できるよう取組まれている。 ○アンケートだけでなく、利用者と積極的に対話する中でニーズを把握し、迅速に対応している。 ○玄関の照明を明るいLEDに交換するなど、利用者に気持ち良く利用してもらうための改善ができています。
③施設の運営について	施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。 ○セルフモニタリングの実施により、業務を確認しており、改善につなげている。 ○職員個々の特性を尊重し、お互いにモチベーションを上げながら風通しのよい職場づくりに取り組んでいる。
④利用実績	○平成23年度と比較して、宿泊者数は870名の増加、利用団体数は18団体増加となっている。利用者数は、2,075名増加した。
⑤収支の状況	○宿泊者数、利用者数とも増加したことにより、平成23年度と比較して、使用料収入は334千円の増収となった。 管理代行料は、予算額を全額執行した。 平成24年度決算額 35,922,000円
総合評価	○施設の目標がしっかりと認識されており、施設の強みを活かした効果的な事業展開を行い、定着させている。 ○施設の整備から職員の対応まであらゆる面できめ細かい気配りがされており、円滑な管理運営ができています。 ○様々な方法によるニーズの把握や施設職員、ボランティアスタッフへの研修を充実させるなど、サービスの更なる向上に向けた取組みを進めている。 ○「忍者大会」は香北青少年の家の事業として浸透しているが、自然体験や社会体験の切り口から、現在実施している主催事業の充実など、施設の新たな柱となるような事業を育成することを期待する。 ○今後、地域に根差した施設となるよう、地域とのつながりを大事にした事業を展開していくとともに、県内だけでなく県外にも広くPRし、認知度をあげていく取組みを期待する。

【評価の目安】

A

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの